

せいりょう園

[発行] 社会福祉法人はりま福社会 特別養護老人ホームせいりょう園

〒675-0016 兵庫県加古川市野口町長砂 95-20 TEL 079-421-7156 FAX 079-421-6422

平成20年6月 第88号 年間購読料1,000円(1部100円)

メール seiryoen@bb.banban.jp ホームページ <http://www.seiryoen.or.jp>

ボランティアを志す貴方へ

社会事業や福祉事業に関与して、無償の奉仕活動をする人を一般的にボランティアと呼んできましたが、最近では有償ボランティアもあります。個人を主体とする社会への変化と、個人の暮らし方の変化に応じて施設も個室化し、ボランティアの視点も内容も大きく変わってきたように思います。

元々ボランティアには、志願兵という意味があります。職業軍人ではなく、社会の要請に応じて志願して戦場に赴く一般人がボランティアでした。介護の現場では、個々のご利用者にも多様な生活場面を創り出すことが求められますが、職員のみでは身体介護を中心としたスケジュールと集団的なアクティビティに終始してしまい勝ちです。多彩な拡がりのある個別生活の実現に向けて、ご家族やボランティアの方々のご協力と関わりが是非必要だと考えています。

今、ピンピンコロリという言葉が流行り、要介護期間は無の方が望ましい、と考えている人が多数ですが、介護の場に身を置くと、要介護の期間は、人が最も自然で最も安らかな最期を迎える準備期間なのだ、と思えてきます。

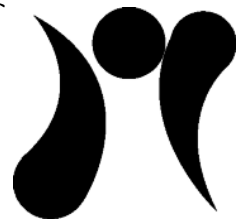
無垢で無防備な赤ん坊が数十年の暮らしを経て、身につけてきた様々な力を徐々に削ぎ落とし、最後に存在そのものを他者に委ねる無防備な姿が其処に在ります。生物体として引き継いだ遺伝子が、最も自然で最も安らかな最期の姿を演出している様子を実感します。そして同時に、他者に迷惑を掛けているのではなく、遺伝子では伝わらない『大切なもの』を引き継ぐチャンスを与えているようにも思います。

介護者には、自然の摂理に添って完結する生命の営みに、身の引き締まる想いがすると同時に、『永遠の命』を実感する瞬間でもあります。個体の死は、不思議な

『縁』が連続する大きな生命活動の中の一つの通過点であり、世話を掛ける、介護をする、その相互作用を通して、『この命』が大空を吹きわたる風になることを信じたい、と願う感性が育まれます。

(次ページにつづく)

せいりょう園 渋谷 哲



(前ページのつづき)

今、『千の風になって』という歌が流行っています。『葉っぱのフレディ』もベストセラーです。しかし、本当に『永遠の命』を信じている日本人がどれ程存在するのか、疑問を感じる現実です。

社会生活を営む中で、お金のやり取りに関係のない、私的な繋がりにも趣味にも関係のない、第3の時間の使い方として、他者の暮らしに関与する介護現場でのボランティア活動を志願して下さい。

貴方の大切なひと時を、要介護のお年寄りと共有して下さい。何もせずとも、関心を持って唯側に居るだけ、から始めて下さい。きっと、大きな贈り物が潜んでいます。

せいりょう園待機者状況

<平成20年 6月17日現在>

判定済み者 279名の内訳

グループ ... 98名	}	計255名
グループ ... 104名		
グループ ... 53名		
入所... 1名		
死去... 11名		
他施設入所... 7名		
キャンセル... 5名		



判定済待機者 255名の内訳

在宅... 95名
特別養護老人ホーム入所中... 5名
老人保健施設入所中... 81名
医療機関入院中..... 62名
ケアハウス入居中..... 4名
グループホーム入居中... 7名
有料老人ホーム入所中... 1名



** せいりょう園 6月の行事 **

- * 6月2日(月) 共生の会
- * 6月7日(土) 園長との懇談
- * 6月8日(日) コーラス
- * ~加古川東教会~
- * 6月9日(月) 仏教講話
- * 6月14日(土) ヴァイオリンコンサート
- * ~ヴァイオリン:木野雅之~
- * 6月16日(月) 美容の日
- * 6月16・17・18・20日
- * 野口南小学校の生徒との交流会
- * 6月20日(金) ひよひ手芸の会
- * 6月23日(月) フラダンス
- * 理容の日
- * 6月27日(金) 介護者の集い
- * ~テーマ 楽しむ食事~
- * 6月28日(土) マンドリン・ギター演奏

野口南小生徒との交流会にて



一緒に折り紙を折りました！

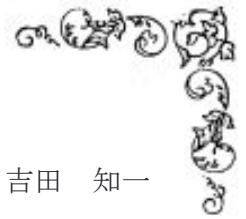


歌を歌って頂きました

第10回地域リハケア海外セミナー2008年

「デンマークにおける地域リハ」 シリーズ1

地域支援センターのぐち南 社会福祉士 吉田 知一



アンデルセンの像

5月13日から20日までデンマークに海外研修へ行って参りました。研修のテーマは「デンマークにおける地域リハ」です。

英国・レスター大学社会心理学エドリアン・ホワイト氏が、全世界178カ国を対象に幸福度調査を2007年に行っています。この「幸福度調査」は、平均寿命・経済状況・教育レベルなどを数値化して決められたものとされています。その調査の結果、世界で最も幸せだといわれているのが「デンマーク」なのです。私は、世界で最も幸せだといわれている国に研修しに行ってきたのです。日本は90位だそうです。

何故、デンマークが世界で最も幸せなのか……。そして、豊かな国で治安も良い長寿大国日本が何故90位なのか……。

私なりに感じたこと、体験したことを書いていきたいと思います。

まず、デンマークはどういった国であるかを紹介します。

デンマークの国土は大小500の島とユトランド半島からなり、総面積は自治国であるグリーンランドとフェロー諸島を除いて43,000km²（九州と同じ位）になります。ほとんどが平坦な土地で、耕地面積が全体の8割を占め、残りの2割弱の土地が居住地となっています。王国であり女王マルグレーテ2世が即位されています。首都はコペンハーゲンです。

人口は538万人（北海道と同じ位）で、行政区分は国、13の県、271の市の3つに分かれています。国が教育を、県が病院、市が福祉サービスを運営しています。

1980年に「高齢者福祉三原則」自己決定、生活の継続性、残存能力の活用を提唱しています。使用している通貨はユーロではなくデンマーククローネという通貨です。1クローネが大体22円ぐらいです。



デンマークの宗教は、ほとんどの国民がキリスト教を信仰しています。国の宗教にもなっていて、宗教庁が置かれています。国民にはこのキリスト教の持つ隣人愛が根底にあり「ソリダリティー＝連帯」という価値観が存在するそうです。これは、デンマークの社会保障が税金で賄われているという連帯意識にも関わっていると言われていました。

社会保障についてですが、年金、医療、教育、介護すべてが国民の税金で賄われており、すべて無料です。その代わりに税金がとてつもなく高いのです。まず、消費税25%です。ペットボトルの水が日本円で500円もしました。そして、所得税が50%です。給料の半分は税金で無くなってしまいます。こんな国のどこが幸せなんだろうかと考えてしまいます……。その他、タバコ、アルコール、自動車などの贅沢品に関してはさらに税金が課せられ、タバコは日本円にして800円、自動車はなんと本体価格の180%の税金が課せられます。例えば、100万円の車を買えば本体価格と税金で合計280万円です。考えられないですね。基礎年金は月20万円ほど給付されるそうです（67歳から給付）。



これらの税金は、オンブズマンや第三者機関の監視が強く、税金の使い道に常に厳しい目が光っています。税金が国民の納得の上で使われているということです。日本はどうでしょうか？



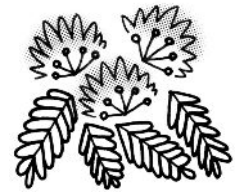
子どもを連れて働く女性

就労に関してですが、女性の就業率が世界一です。女性15～64歳の約75%が働いています。そのうちフルタイムで働いている方が8割もいます。ただし、離婚率、再婚率ともに高いようです。

デンマークでは、給料より労働環境を重視しています。あらゆる職場には労働監査局から監査が入り、働く人間が満足して心も体も健康に仕事ができる環境であるかどうか徹底的に調べるそうです。監査にひっかかった職場は、国営の場合（病院、学校、介護施設）などは交付金がカットされます。さらに、インターネット上に劣悪な職場であると公表されるそうです。日本とは違いますよね。日本はいかに利用者や患者が

満足出来ているかを重視します。デンマークでももちろん重視しますが、働いている者が満足出来ない職場は利用者も満足させられないという考えのようです。

実は、研修中にデンマークの全介護職員がストライキをしている真っ最中だったのです。これも日本では考えられないことです。病院や介護施設は国が経営しているので経営者は国になります。ストライキは国に対するもので、ある意味では、国民に対して介護の仕事の是非を問うストライキでもあるということです。働きやすい労働環境を徹底的に追求していることもあり、デンマークの職場は労働満足世界一だそうです。



デンマークの高齢者福祉事情ですが、デンマーク語には定年、老後、余生という言葉が存在しないそうです。仕事は本人が辞めたい時に辞めることができます。ここでも自己決定が認められています。高齢化率は現在15%でゆるやかに上昇中。平均寿命は男性75.6歳 女性80.2歳でヨーロッパ諸国と比べても低い数字です。これは、好きなものを食べ、好きなものを飲んでいる食生活をされているのが原因で、デンマークでの死因の第1位は心臓病だそうです。ガンの死因1位は、皮膚ガンです。北欧では白夜で日照時間が長く、オゾン層破壊の影響から有害な紫外線が降り注いでいるとのこと。そんな状態であるにも関わらず、肌を焼くことがステータスで若い内から肌を焼いています。これも皆、自己決定、自己責任を徹底しています。

医療についてですが、医療費はすべて税金で賄われており子供からお年寄りまで無料です。無料だといっても際限なく使えるという訳ではありません。各地域には家庭医が設置されており、患者は住んでいる地域を担当している家庭医をまず初めに受診しなくてははいけません。ここでは、簡単な診察しか行っておらず、家庭医が必要と認めた場合のみ大きな病院に受診することが出来るのです。救急車を呼んだとしても家庭医のもとに運ばれるそうです。そんなデンマークでさえも日本と同じように入院日数の短縮を行っています。入院平均日数は4.5日で療養型の病院は存在しないそうです。病院で亡くなる人は全体の1割で、残りの9割は在宅か施設で迎えるそうです。入院していても、死期が近づくと、自分の家にあえて戻るそうです。医療の重要性、



優先順位が低く、血液検査やレントゲンの結果が2ヶ月もかかるとのこと。こういった背景があり、近年では個人経営のプライベートホスピタルが出てきているようです。

さて、ここからはデンマークの病院や高齢者施設について書きます。

まずグロストロップ病院というところを見学しました。家庭医を受診し、より専門的な治療、入院、手術が必要であると認められ、紹介される総合病院が今回見学したグロストロップ病院です。

グロストロップ病院はコペンハーゲンの県の7つの市にまたがり、シェランド島の人口の約160万人をカバーしています。この病院に約3,000人の職員が働いているそうです。退院後は在宅に直接戻る方、リハビリセンターでリハビリをしてから在宅へ戻る方、もしくはプライエム24時間ケア(特養)、高齢者住宅(ケアハウス)などの施設に入居する方など様々。

病院自体は国営なので院長はいません。経営者は国、国民になります。中心となる役職は主任ドクター、主任ナース、主任PTの3人で、一人の患者が在宅に戻るまでには回復過程に応じて、急性期を担う病院、回復期を担う病院、家庭医、リハビリセンター、訪問在宅福祉部門、市町村など複数の機関と情報を共有し連携します。



グロストロップ病院



主任PT・インゲさん(左)と
主任ナース・コンバルさん(右)

退院の際には、在宅に戻って行うリハビリの処方箋を主任ドクターが作成します。もちろん本人のニーズに沿って作成されます。それを家庭医やリハビリセンターのPT、訪問リハを行うPTなどのサービス機関と情報共有します。

リハビリの処方箋について主任ナースや主任PTが納得いかない場合は書き換えることがあるそうです。むしろドクターよりも患者と近い関係にあるナースやPTのほうが体やリハビリの状態を良く知っているという自慢げにおっしゃっていました。

仕事の上で最も大事にしているのは、「職域を越えたチーム意識」だそうです。お互いの価値観をすり合わせる為にコミュニケーションはかかせないとのこと。相手がドクターでも納得するまで話し合いをするそうです。

そして、おどろいたことにデンマークの病院には退院の際に相談を受け付けるソーシャルワーカーがいないのです。デンマークではPTやOT、STのことを「セラピスト」と呼んでいます。直訳すると臨床心理士やカウンセラーという意味になります。PT、OT、STがソーシャルワークの分野を行っているのです。リハビリを行うまでに、本人が障害を受容する過程が必要になり、そこにPT、OT、STが関わるということはリハビリを行う一連の流れとして、理にかなっているのかもしれませんが、私がデンマークの専門職に感じたことはPT、OT、STの三職種だけが、ソーシャルワークの分野を熟知している訳ではなく、すべての専門職が価値観をすり合わせるコミュニケーションを身に付けているということです。だから、相手の話を聴くという姿勢、自分の思いを相手に伝えるということを重要視しています。職域を超えたコミュニケーションの秘密はそこにあると個人的に感じました。(・・・次号に続く)

2008年海外研修はシリーズ1～3に分けて掲載いたします。



仏教講話より

相談室管理者 武井 博子

5月は加古川市本町の真言宗 称名寺のご住職米沢義憲様の講話でした。開始の午後3時前にはデイサービス利用の方々、近隣の方々、グループホームの方々が三々五々集いました。

称名寺付近一帯は加古川城があったところで、太閤秀吉が三木城攻めの軍議を行ったと伝えられています。当時の城主加須屋武則の墓、位牌はいまも寺に祀ってあるそうです。最近では歴史に関心を持つ人も多く、その史跡を訪ねる人たちににぎわうこともあります。

境内には樹齢300年になる大イチョウが3本あり幹は大人5人で手がまわる太さ。高さは30mにもなり、四季折々に目を楽しませてくれ寺の宝として加古川町のシンボルになっています。

寺では毎年5月8日にお釈迦様のお誕生を祝う花祭りを行い、花御堂でお釈迦様をおまつりしお接待をなさいます。ご住職が子供の頃はたんぼのれんげを摘んで屋根を飾ったそうですが最近では菊の花などで飾っています。

加古川仏教会では毎年加古川駅前では花祭りをし、お釈迦様のお誕生をお祝いすると共に我々一人一人が人間として生まれてきた生命を尊ぶ行事として続けておられます。

当日は母の日の翌日でもあり、ご住職は96歳になられるお母様のお話をしてくださいました。日々、草引き、縫い物や寺をおとづれる方々とお話を楽しまれる。また着る物食べる物すべてを大事になさって、いまでも70年前の嫁入り道具、化粧台、針箱を使っておられます。その元気の基はご飯を食べることが一番とおっしゃって、3食ともご飯。朝はご自分で柔らかく炊き直しておられるそうです。

昔、寺は弟子を大勢育てておられました。10歳から15歳ぐらいで小僧として寺に入った弟子は一人前になると近くの寺の住職として迎えられたそうです。お母様も戦中戦後60人近いお弟子をお世話なさったとうかがいました。

ご住職のお母様に対する尊敬と感謝の気持ちが私達聞く者に伝わり温かい穏やかな気分になりました。

さて本題は「無財」の七施でした。これは人のため、自分のために身を正して生き、施しをするという七つの教えです。

慈眼施 自分の見方で相手を傷つけることなく優しいまなざしで人に接する

和顔施 穏やか、にこやかな顔で邪念なく人と接して暮らす

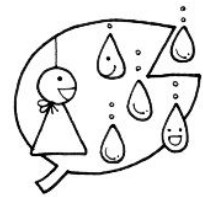
愛語施 思いやりのある温かい言葉 ありがとう すみません どうぞ ご苦労さま
おかげさまで というゆずりあう気持ち、言葉を大切にする

捨身施 謙虚に喜んで人に尽くす 労力の奉仕 ボランティア精神

心慮施 相手の立場にたって物事を考え真心を尽くす心

床座施 自分の座席を他人に譲る 人は互いに譲り合って生きる

房舎施 掃除した寺、施設を開放し気持ちよく接待する



これらはお金、財産がなくてもいつでも誰でもできる大事なことです。感謝の気持ちをもって暮らしましょうと結ばれました。

講話のあと質問に答えて、①ご本尊の阿弥陀如来さまは真言宗のご本尊としては珍しく、一般的には真言宗の寺は大日如来さまです。②阪神淡路大震災後、傷んだ寺を解体し新築するため境内の楠を1本切り倒したこと③その楠で10年がかりで高さ1メートルの梵天・帝釈天2体の仏像を作ったこと一などを披露されました。古来、楠は樟腦の材料で虫が付きにくい事から仏像の材料として使われてきており、2体の仏様は金箔、銀箔を竹べらで切って模様にして張っていく「截金模様」という技法が施されて本堂におまつりしておられます。

ご住職からぜひ皆さんでおいでくださいとお誘いのお言葉をいただきました。ご住職のお人柄とリバティに住んでおられる方が称名寺の檀家さんだということもあって終始穏やかで暖かい雰囲気での仏教講話でした。

介護現場発信情報

～かけがえのない^{ひととき}一刻を～

せいりょう園喫茶ルームより

入社三年目を迎えて

足立 美香



せいりょう園に入社して、三度目の春を迎えました。はじめの8ヶ月は厨房に勤務し、それ以降現在に至るまで、喫茶ルームでの勤務についています。

この短い期間の中で、三つの大きな波に遭遇しました。一つ目の波はユニットの設立、二つ目の波は厨房の作業所の移動、三つ目の波は主任の交代です。それぞれの波に伴い、業務形態の変更があり、また、人事の異動がありました。うねる変化の中で、新しく得たもの、大きく失ったものが各々あるように感じます。

施設が目まぐるしい変化を見ていると、大学を中退して「食」の世界に入ろうと決心した頃の事を思い出します。勧められるがままに進学した経営情報学科でパソコンに向かう日々、祖父の死に直面しました。人の死が理解出来ず、どうしようもなく悲しくて、あまりの悲しさに驚きました。食べなかったら死ぬ、食べても死ぬ、食べられなくなったら死ぬ。生きていく上では欠かせないはずの食べ物が、病気を引き起こす不思議、人を生かしたり殺したりする不思議を強く感じました。また、生きるためだけに食べるのではなく、食べることで自分が幸せなのだと感じました。

その年の春、親の反対を押し切り大学を中退して、栄養士の専門学校に入学しました。栄養学を学んでいく中で、食べ物のことをもっと掘り下げて知る必要があると感じ、調理師科の夜間部に翌年入学しました。お昼は栄養士科、夜は調理師科に通い、土日はアルバイトをしていたので体力的にとてもきつく、晩御飯を食べている最中に眠ってしまうことがよくありましたが、食べ物に囲まれた学校もアルバイトも大好きでした。

卒業を半年後に控え就職活動をする際、就職するなら勤務時間が短くて、正社員で、お給料が良くて、自宅から自転車で通える所がいいなあと思っていました。「保育園なら勤務時間が短いだろう」と思い、大久保の保育園を受けてあっさり断られ、「公務員なら条件がよいだろう」と思い、兵庫県の学校栄養職員を受けて面接でしくじって落とされ、就職課の先生が心配して手配して下さった明石の保育園は、派遣社員だったのでお断りしました。

卒業も間直になって、ぷーさんになるのかしらとぼんやりと思っていた頃、せいりょう園の調理員募集の張り紙を見つけ、「自宅から自転車で通えるな」と思い、思い切って電話をしました。事務所の方から担当のKさんに代わって頂くと、Kさんの声があまりに怖かったので、少々不安になりました。施設の案内はYさんがして下さり、優しい感じでほっとしたのを覚えています。その時まで、老人ホームに足を踏み入れたことは一度もなく、牢屋のようなところを想像していました。施設の案内で、選択メニューや美味しそうな献立が記入されたホワイトボードを見せて頂き、老人ホームのイメージが牢屋から民宿に変わりました。素敵だなと思い、絶対ここでご飯を作るぞと思いました。

せいりょう園が過渡期を迎える今、私は喫茶でご飯を作っています。きざみ・みじん・ミキサー、普通の家庭では多分毎日そこまでは出来ないであろう老人食を作っています。特養ユニットがはじまり、調理員も介護職員も皆が調理を行う方向に向かっています。家庭のようにお母さんが台所で調理をする、湯気や包丁の音がする、そんな自然な風景を目指しているのだと園長から説明がありました。

入居者の方が耳や鼻や皮膚で感じる調理をすることはとても素晴らしいことだと思います。出来ればリバティの方とも交流しながら調理をしたいと願います。しかし、本当にそれだけでよいのでしょうか。家庭のお母さんのように誰もが調理をすることによって、失うものはないのでしょうか。

就職活動をするにあたって、どこの施設の面接を受ける時にも、大前提として一つだけ譲れない部分がありました。それは、お給料でも、自宅からの近さでも、勤務時間の短さでもありません。正社員として施設の一員となり、「調理」の「食」のプロとして仕事をし、プロにしか出来ない食事の提供をすることです。「食」の世界に入ろうと決めたのは、花嫁修業のためではありません。自分の知識や腕を駆使して、今まで食べることが出来なかった方にも、なにかしら「食事」としての形で摂取出来る食事を提供したい、アレルギー食や病人食を「満足できるおいしい食事」としての形で提供したい、そう思っていることです。

今提供しているきざみ・みじん・ミキサー・代替食が、プロとしての頂点の物だとは思っていません。ソフト食や一歩進んだ滑らか食などをすでに提供している施設もあるようです。しかし、せいりょう園厨房が行事食の時に作っているミキサーのお寿司やお魚ゼリーは、かなり進んだところにある先駆的なすばらしいものであると確信しています。厨房職員が時間を作り、話し合いをすすめて、設備を整えて知恵を出し合えば、必ずや良い方向に前進していけるだろうと信じています。その中で、入居者の方々が肌で感じれる調理を行えたら、それがベストではないかと思えます。

「食のプロを抱え、食のクオリティーを高める事」それはまさにクオリティーオブライフの向上そのものではないかと思えます。



ケアハウス等空き情報 <平成20年6月17日現在>

- | | | | |
|-----------|-------------|-------------|--------------|
| ・めぐみ苑 | : 1 人部屋 3 室 | ・香楽園 | : 1 人部屋 2 室 |
| ・シスナブ御津 | : 1 人部屋 1 室 | | : 2 人部屋 2 室 |
| ・清華苑シバライフ | : 1 人部屋 1 室 | ・ウエルビーグ はりま | : 2 人部屋 1 室 |
| ・キャッシル真和 | : 1 人部屋 1 室 | ・あさなぎ | : 1 人部屋 1 室 |
| ・保月の郷 | : 1 人部屋 3 室 | ・恵泉 | : 1 人部屋 30 室 |
| | : 2 人部屋 1 室 | ・第二ケアハウス恵泉 | : 1 人部屋 10 室 |
| ・青山苑 | : 1 人部屋 1 室 | | |

[問合せ先]せいりょう園介護相談室 (079)421-7156/(079)424-3433